

筑波放射線安全交流会(TARS)の活動について



筑波放射線安全交流会
事務局

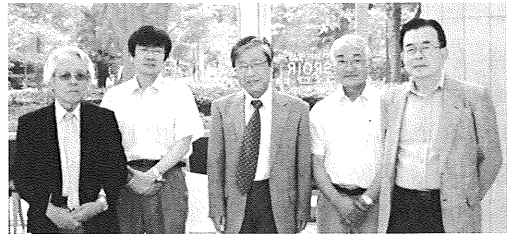
畔柳 誠

1. 筑波放射線安全交流会とは

茨城県つくば市とその周辺地域（以下「筑波地区」）は、国、民間合わせて約300に及ぶ研究機関・企業、8つの研究・工業団地、約1万人以上の研究者を擁する国内最大級の研究開発拠点となっています（平成20年現在。国土交通省都市政策課のHPより編集）。

筑波放射線安全交流会（TARS）は筑波地区に事業所を持つ産・学・官の放射線施設の職員を会員として、筑波大学化学系教授（当時）の池田長生初代会長によって昭和62年に設立されました。本会の特徴として、放射線安全に関心のある人ならば誰でも簡単に参加でき、個人の立場で気軽に本音で話し合える会を目指しています。なお、TARSは Tsukuba Association of Radiation Safety の略称です。

現在の個人会員は、放射線障害防止法に係るRI・加速器事業所の管理者・主任者を主体に約40名、賛助会員機関は約10団体です。毎年、放射線安全教育講習会（初夏、秋）、勉強会、講演会等の活動を継続しています。本年7月には第29回総会・講演会を開催しました。今期は佐々木慎一会長（高エネルギー加速器研究機構（KEK））、奥野功一副会長（㈱安藤・間）、幹事には（独）農業環境技術研究所（農環研）、製薬会社、被ばく測定サービス会社、放射線計測機器メーカー、放射線管理（放管）サービス会社の体制です。



創立25周年記念講演会での歴代会長
（左から）坂口健哉（エーザイ株）、榎本和義（KEK）、廣瀬勝己（気象研究所（気象研））、近藤健次郎（KEK）、加藤和明（KEK）の各氏（所属は会長当時）

2. 沿革・活動

昭和60年代当時、筑波地区に移転・開設された国立研究機関はすでに40を超え、北部・西部工業団地の開発と共にRI使用施設も年々その数を増やしていました。当時、筑波地区の放射線施設には、排気濃度・排水濃度のいわゆる「10分の1規制」があり、排水の規制が特に厳しく、これにどう対処したら良いか等が関心の高い話題でした。そこで、民間企業の有志から、放射線管理の勉強会や情報交換の場を設けてはどうかという要望が強くなりました。これを受けて、昭和62年夏頃から大学、研究機関、企業等の有志十数名が設立に向けて準備を開始し、9月に設立総会が開催されました。

個人会員数は、設立当初は36名からスタートし、次第に増加して昭和63年には88名、平成元年には100名を超え、盛況となりました。

当会の活動は、①月例勉強会を開催して放射

線管理上の諸問題（立入検査での改善指摘事項の対応、RI廃棄物の取扱いなど）の意見交換を行い、その他に、②水戸原子力事務所（当時）のご担当者との意見交換など年2回講演会等を開催していました。また、③TARSニュースを定期的に発行して会員の施設・放射線管理の工夫などを紹介して交流を促進しました。さらに、④会員施設の見学会や懇親会も随時開催しています。

平成15年頃からRI事業所の移転・廃止が進み、個人会員数が減少に転じて平成18年以降は40名前後で推移しています。近年の活動は、①放射線安全教育講習会（初夏、秋）と、②総会・講演会が主たる内容となり、活動のパワーが落ちてきたことは否めません。個人会員数の推移を図に示します。

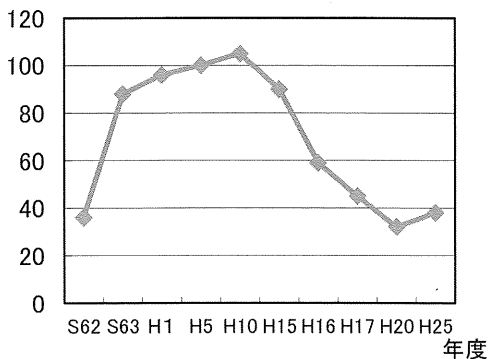


図 個人会員数の推移

最近の活動から紹介すると、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故後の創立25周年記念講演会（平成23年7月）では、参加費を無料に

して一般に公開し、会員研究機関やつくば市から「福島原発事故に関する活動の報告」を行いました（気象研、筑波大学、KEK、農環研、つくば市、茨城県立医療大学、東京ニュークリア・サービス(株)、(株)千代田テクノル）。また、日常の活動としては、放射線障害防止法の改正対応や研究機関に共通の話題について適宜勉強会を開催し、最近では「エックス線発生装置の管理」や「福島事故由来試料の取扱い」などについて意見交換を行いました。

3. 今後の活動

筑波地区にはRI・加速器事業所数がまだまだ多く、筑波大学、KEK、(独)産業技術総合研究所、(独)宇宙航空研究開発機構（JAXA）、(独)理化学研究所など、外来者を受け入れてRI等を使用する大規模事業所があります。例えば、外国人・一時立入者の取扱いや外国人教育、エックス線発生装置の管理など事業所に共通する悩みや課題を気軽に情報交換できる場を提供し、また、講演会の記録や集まった情報を会員に有効に利用して頂けるように工夫していきたいと考えています。

つくば市とその近隣の個人、団体、企業の方でTARSの活動に参加をお考えの場合は、下記の事務局までお問い合わせ願います。

【事務局】東京ニュークリア・サービス(株)
業務管理・企画部
畔柳 誠（クロヤナギ マコト）
kuroyanagi@tokyo-nucl.co.jp